

仙南地域広域観光推進プランの改訂と今後の取り扱い方針について

1 プランの改訂・延長について

本プランの計画期間（終期）は、当初は平成 31 年（令和元年）までであったが、「第 4 期みやぎ観光戦略プラン（県プラン）」をはじめとした各種行政施策の計画期間や、東北観光復興交付金の実施期間と一致していなかったことから、令和 2 年度末まで 1 年間延長した。

その後、県プランが新型コロナウイルス感染症の影響からの回復戦略を追加し、令和 3 年度末まで延長されたことから、本プランも仙南地域の回復戦略を現プランに追加し、1 年間（令和 3 年度末まで）期間を延長した。なお、プランの目標値については、感染症の影響を考慮して当初の値を据え置いている。

【参考】各施策・交付金の実施期間

施策・交付金名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4～
仙南地域広域観光推進プラン	当初の計画期間											延長	延長+回復戦略	第2期		
東北観光復興対策交付金	実施期間															
みやぎ観光戦略プラン	第1期			第2期			第3期			第4期			改定4期 回復戦略		第5期	
宮城県震災復興計画					復旧期			再生期			発展期			新・宮城の将来ビジョン (R3～R12)		
宮城の将来ビジョン	当初の計画期間						改訂による延長期間									
宮城県地方創生総合戦略									当初の計画期間			延長				

2 改訂箇所について

- (1) 構成の変更（概要版）：A 3 両面 1 ページ→A 4 両面 2 ページ
「表紙」及び「計画の目的～現状・課題」を各 1 ページ 両面
「観光振興の施策・取組」及び「重点的取組」を A 4 各 1 ページ 両面
- (2) 期間：平成 29 年度～令和 2 年度（4 年間）→平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間）
- (3) 観光振興の施策・取組
県プランの「仙南圏域の施策の方向性及び取組」を回復戦略「基本方針 4」として追加
- (4) 重点的取組
「新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組」を「重点 4」に追加

<仙南地域広域観光推進プラン>

第 4 章 観光振興の施策・取組

- 1 施策の体系
- 2 施策・取組

- 基本方針 1 仙南地域の魅力向上と認知度向上による「みやぎ蔵王」ブランド戦略の展開
 基本方針 2 多様な観光資源の連携による体験・滞在型観光の推進
 基本方針 3 国内外から人が集まる「みやぎ蔵王」の観光基盤体制づくり
基本方針 4 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

3 重点的取組

- 重点 1 「仙南に来たくなる」戦略的なプロモーションの実施
 重点 2 「来て見て楽しめる」観光コンテンツの充実
 重点 3 「チーム仙南」として地域一体となった観光地づくり
重点 4 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

3 第 2 期仙南地域広域観光推進プラン（令和 4 年度～）の取り扱い方針について

現在、県プランと圏域プランが同時に存在していることから、令和 4 年度以降については、圏域のプランは策定せず、県プランに統合する方向で今後管内市町等関係者と協議を進めていく。

1 仙南地域広域観光推進プランの目標値に対する令和2年度までの実績

項目	基準年 (H27)	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績 (速報値)	目標値 (R3)
① 仙南地域の 観光客入込数	602万人	620万人	619万人	718万人	490万人	771万人
② 仙南地域の 宿泊客数	63万人泊	70万人泊	61万人泊	71万人泊	41万人泊	78万人泊
③ 仙南地域の外 国人宿泊客数	0.9万人泊 (8,628人泊)	1.4万人泊 (14,100人泊)	1.7万人泊 (16,798人泊)	2.5万人泊 (24,686人泊)	—	4.5万人泊

※R1 までの実績値

①及び②は宮城県観光統計概要，③は宿泊旅行統計調査データ（観光庁）を基に大河原地振で算出。

2 令和2年度の具体的取組実績（重点的取組から抜粋）

●重点1 「仙南に来たくなる」戦略的なプロモーションの実施

○各種協議会等における周辺観光圏との共同プロモーション

白石市・七ヶ宿町 国道113号沿線の宮城・山形2市2町の観光資源の共同PRと交流促進

- ・みちのくおとぎ街道スタンプラリーを実施。890通の応募，抽選により宿泊施設利用券や特産品の詰合せをプレゼントした。観光雑誌2誌に広告を掲載。

大河原町・柴田町 「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し2町連携事業を推進

- ・インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業（海外BtoB, BtoCプロモーション）
- ・桜まつり用2町共同パンフレット作成

●重点2 「来て見て楽しめる」観光コンテンツの充実

○多彩な体験型観光メニューの造成

角田市 道の駅かくだをプラットフォームとする地域資源をフル活用した体験型観光を推進

- ・収穫体験イベントや体験型観光モニターツアー，専門家の招聘を行い，地域資源の掘り起こし，関係者とのネットワーク構築を実施。

蔵王町 町内の多彩な資源を活用した都市部住民等との体験型交流事業を推進

- ・教育旅行4校受入（梨狩り体験，乳製品づくり体験，こけし絵付け体験，大根狩り体験，芋煮体験，野鳥観察）

●重点3 「チーム仙南」として地域一体となった観光地づくり

○宮城インバウンドDMO推進協議会における観光戦略立案

丸森町 沿岸2市2町を含む県南4市9町が連携した観光地域づくりのための戦略を立案

- ・サイクルツーリズム推進に向けた新たなサービス整備と人材育成事業及び南宮城の災害と防災意識について学ぶ教育ツーリズム推進事業を実施。

○みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議における観光振興に向けた事業立案

大河原地振 「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の普及促進

- ・観光施設や道の駅等への「地域の逸品コーナー」設置，SNSを活用した知名度向上
- ・事業者向けセミナー開催によるブランド力向上

●重点4 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復のための取組

○仙南地域の食と観光のブランド化とWEBを活用した情報発信（施策10②）

村田町 観光HP構築による観光情報の発信

- ・観光物産協会においてHPを構築し，プロモーション活動を実施

○地元の魅力再発見による誘客促進・観光需要の創出（施策10②）

川崎町 町内宿泊施設の割引クーポンを発行し，宿泊事業者を支援

- ・町内外から436泊の需要を創出